

# 白浜宣言

令和7年5月17日 大安

第27回日本放射線腫瘍学会小線源治療部会学術大会に集いし有志の意見を  
もとに、以下の将来計画を宣言する。癌治療の主たる柱の一つである小線源治  
療の発展に資するものとして、「先の先の、その先へ」という大会テーマの精  
神に基づき、研究発展していくものとする。

## シンポジウム1「小線源治療の未来」

生島 仁史(徳島大学)

岡本 裕之(国立がん研究センター中央病院)

伊井 憲子(伊勢赤十字病院)

村上 直也(順天堂大学医学部附属順天堂医院)

川村 慎二(帝京大学大学院 保健学研究科)

武中 正(京都府立医科大学)

**「小線源治療医を増やす！」 新たな小線源治療教育事業を立ち上げます！」**

**「匠の技”から”見える安全・測れる品質”へ:線源強度計測の普及と標準化、治療計画  
立案方法の標準化と治療計画物理レビューを推進します！」**

## シンポジウム 2 「国産 RALS プロジェクト」

吉田 謙(関西医科大学)

飯島 康太郎(順天堂大学医学部附属順天堂医院)

秋山 広徳(大阪歯科大学)

塩見 浩也(彩都友誼会病院)

林崎 規託(東京科学大学)

「世界で最初の Mixed Reality × 高線量率密封小線源治療の前向き試験

を成功させます！」

「口腔組織内照射アプリケーション実入練習用のファントム・VRを開発する。さらに、ニードル先端位置の正確な把握できるようにナビゲーションとの融合や、線量分布の3次元の実測ができるゲル線量計で出来たファントム作製、に挑戦します！」

「Gd-153 非対称線源・ShioRIS3 の開発を通して、線量計算 (X 線、小線源)、画像融合・自動輪郭抽出、ARM+AI による線量分布最適化、Navigation System との融合、などを目指します！」

## シンポジウム 3 「前立腺癌」

石山 博條(北里大学)

吉岡 靖生(がん研究会有明病院)

稲景 浩二(国立がん研究センター中央病院)

加藤 正子(昭和大学病院)

「小線源治療におけるホルモン療法の併用期間について、「外照射より短くする」ことを念頭に、適正な期間を提案できるように検討していきます！」

## シンポジウム 4 「婦人科癌の治療と看護」

磯橋 文明(奈良県立医科大学)

後藤 志保(がん研究会有明病院)

高岡 祐史(彩都友誼会病院)

奥野 典子(奈良県立医科大学附属病院)

日浅 友裕(中京学院大学)

「小線源治療におけるレジリエンス強化宣言:本シンポジウムに基づき、小線源治療におけるレジリエンス強化プログラムをまず奈良県立医科大学で立ち上げ実践し、今後の小線源治療部会で結果報告します！」

## シンポジウム5「小線源治療の有害事象」

野本 由人(三重大大学)

祖父江 由紀子(東邦大学医療センター大森病院)

菊野 直子(東京医療センター)

馬場 毅一郎(筑波大学)

後藤 志保(がん研究会有明病院)

丹羽 康江(東京科学大学)

「小線源治療の有害事象を重要なテーマとして今後也多職種で検討していきます！」

## 有志提案

久能木裕明・吉田謙

「子宮頸癌・腔癌・外陰癌の根治照射における骨盤・鼠径リンパ節転移に対する組織内照射によるブーストの適応についてガイドライン案(仮)を作成します！」